

SD-WAN vEdge ルータのアップグレード

内容

[はじめに](#)

[前提条件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[vEdgeのアップグレード前に実行する事前チェック](#)

[vManage Graphic User Interface\(GUI\)によるvEdgeルータのアップグレード](#)

[CLIによるvEdgeルータのアップグレード](#)

[アップグレード後の検証](#)

[トラブルシューティング](#)

[不正確なクロック](#)

[その他のトラブルシューティング](#)

[関連情報](#)

はじめに

このドキュメントでは、ソフトウェア定義型ワイドエリアネットワーク(SD-WAN)vEdgeルータをアップグレードするプロセスについて説明します。

前提条件

次の項目に関する知識があることが推奨されます。

- Cisco Software-Defined Wide Area Network(SD-WAN)
- Cisco Software Central – コントローラソフトウェア fromsoftware.cisco.com をダウンロードします。
- [Cisco SD-WAN互換性マトリクス](#)

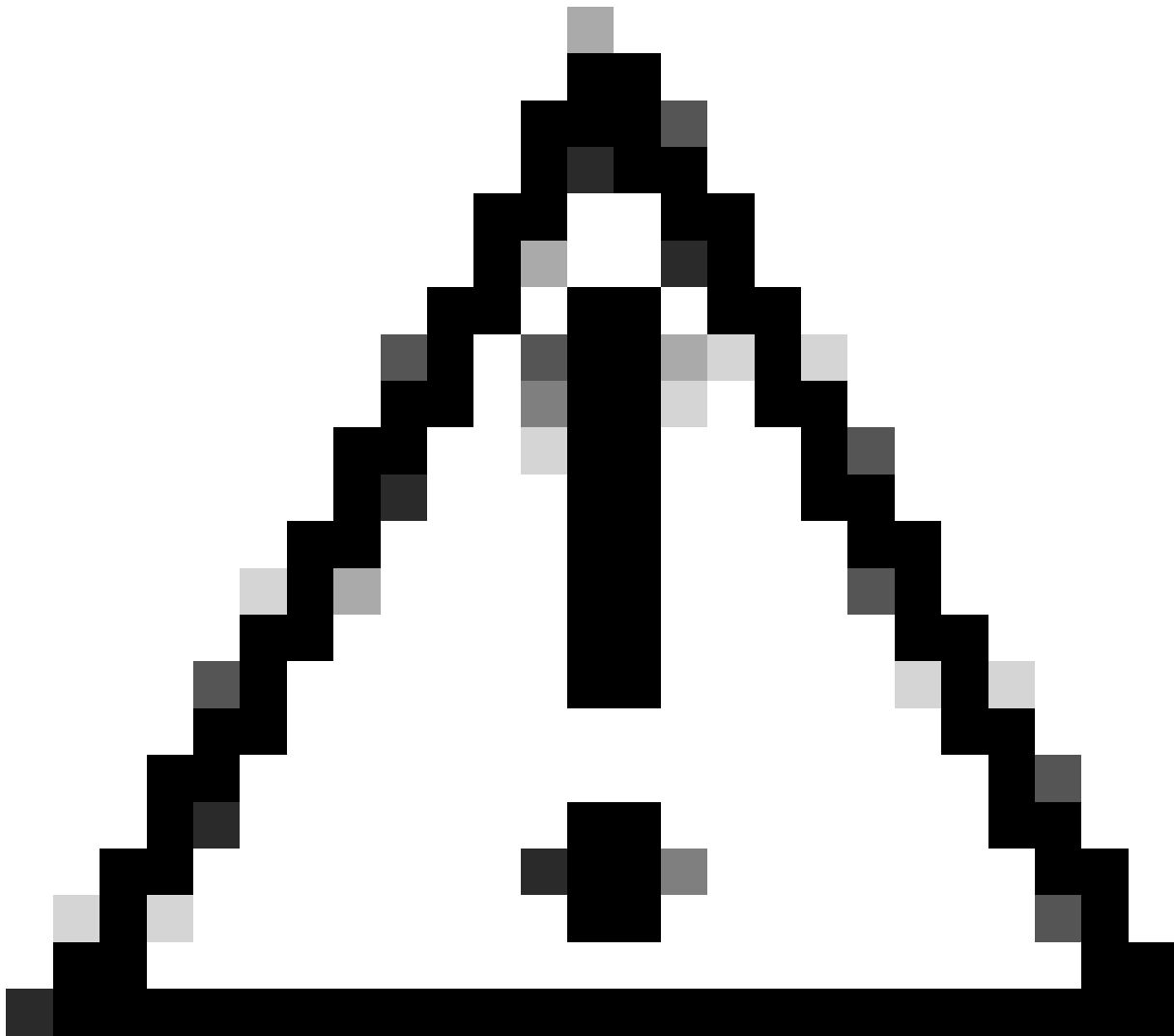
使用するコンポーネント

Cisco vManage

Cisco vEdgeルータ

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されました。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな（デフォルト）設定で作業を開始しています。本稼働中のネットワークでは、各コマンドによって起こる可能性がある影響を十分確認してください。

vEdgeのアップグレード前に実行する事前チェック



注意：これらの事前チェックをスキップすると、ディスク領域が不足しているために vEdge のアップグレードが失敗する可能性があります。

-
1. デバイスのクロックが正しい時刻であることを確認します。
 2. 現在のバージョンが、show software コマンドの下にリストされている唯一のバージョンであることを確認します。

```
vedge# show software
```

```
VERSION ACTIVE DEFAULT PREVIOUS CONFIRMED TIMESTAMP
```

```
-----  
20.9.4 true true false auto 2023-10-05T16:48:45-00:00  
20.9.1 false false true user 2023-05-02T19:16:09-00:00  
20.6.4 false false false user 2023-05-10T10:57:31-00:00
```

3. 現在のバージョンが、show software version コマンドでデフォルトとして設定されていること

を確認します。

```
vedge# request software set-default 20.9.4
status mkdefault 20.9.4: successful
vedge#
```

4. その他のバージョンが表示された場合は、request software remove <version>コマンドを使用して、アクティブではないバージョンを削除します。これにより、アップグレードを続行するために使用できる領域が増えます。

```
vedge# request software remove 20.9.4
status remove 20.9.4: successful
vedge-1# show software
VERSION    ACTIVE DEFAULT PREVIOUS CONFIRMED TIMESTAMP
-----
20.9.4     true   true   false   auto       2023-10-05T16:48:45-00:00
vedge-1#
```

5. UsevShellを使用し、df -hコマンドを発行して、アップグレードを実行するのに十分な空きディスク領域があることを確認します。

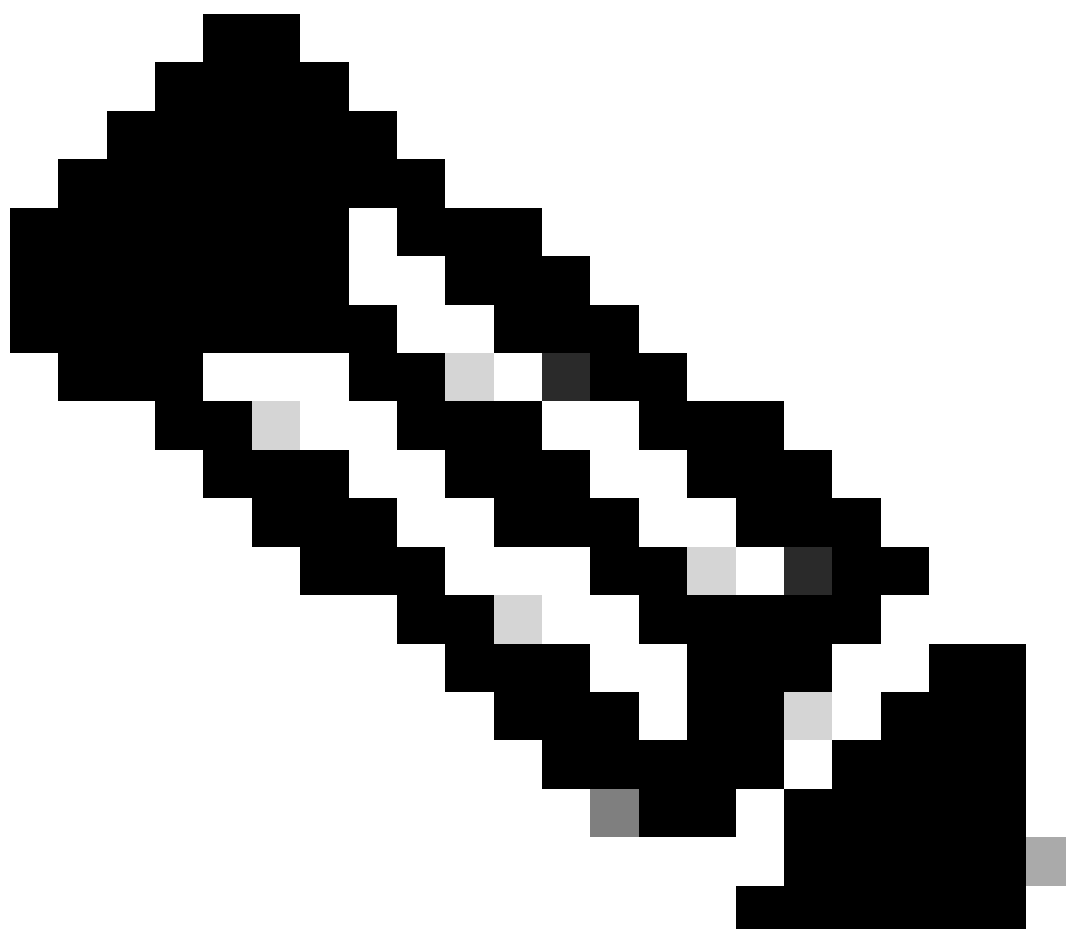
```
vedge# vshe1
vedge:~$ df -h
Filesystem      Size  Used Avail Use% Mounted on
none            1.4G   8.0K  1.4G   1% /dev
/dev/sda1       1013M  518M  445M  54% /boot
/dev/loop0        78M    78M    0 100% /rootfs.ro
/dev/sda2        6.0G  178M  5.5G   4% /rootfs.rw
aufs            6.0G  178M  5.5G   4% /
tmpfs           1.4G   300K  1.4G   1% /run
shm             1.4G   48K   1.4G   1% /dev/shm
tmp             600M   84K   600M   1% /tmp
tmplog          120M   37M   84M   31% /var/volatile/log/tmplog
svtmp           1.0M  312K  712K  31% /etc/sv
```

6. /tmpがいっぱいになった場合は、[TAC SR](#)を開き、アップグレードの前に/tmp/tmpディレクトリの空き領域を確保するための支援を受けます。

vManage Graphic User Interface(GUI)によるvEdgeルータのアップグレード

1. Maintenance > Software Repositoryを使用して、新しいvEdgeソフトウェアをvManageにアップロードします

2. vManage Maintenance > Software Upgradeページに移動し、アップグレードするデバイスを選択します。
 3. Upgradeをクリックし、ドロップダウンメニューからバージョンを選択して、Upgradeをクリックします。
 4. 同じページに戻ります。vEdgeを選択し、Activateをクリックします。
-



注：手順3と4を組み合わせるには、「Active and Reboot」の横にあるチェックボックスをオンにします。

5. vManage Maintenance > Software Upgradeページに戻り、デバイスを選択します
6. Set Default Versionをクリックし、ドロップダウンメニューからバージョンを選択して、Set Defaultをクリックします。

CLIによるvEdgeルータのアップグレード

1. scp、ftp、またはUSB経由 (該当する場合) で、ソフトウェアをルータに転送します。
- 2.request software install <filepath>コマンドを使用して、ソフトウェアをインストールします。

```
vedge2_20_6_3# request software install /home/admin/viptela-20.6.5-x86_64.tar.gz
```

3. show softwareコマンドを使用して、ソフトウェアがインストールされていることを確認します。

<#root>

```
vedge# show software
```

VERSION	ACTIVE	DEFAULT	PREVIOUS	CONFIRMED	TIMESTAMP
---------	--------	---------	----------	-----------	-----------

20.6.2	false	true	true	user	2022-01-28T21:25:12-00:00
--------	-------	------	------	------	---------------------------

20.6.3	true	false	false	user	2022-06-08T00:09:20-00:00
--------	------	-------	-------	------	---------------------------

20.6.5	false	false	false	-	-
---------------	--------------	--------------	--------------	----------	----------

- 4.request software activate <version>コマンドを介してソフトウェアをアクティブ化します

```
vedge# request software activate 20.6.5
```

5. アップグレードから15分以内に、request software upgrade-confirmコマンドを使用してソフトウェアのアップグレードを確認する必要があります。

```
vedge# request software upgrade-confirm
```



警告:upgrade-confirmタイマーの期限が切れる前にアップグレードを確認しないと、デバイスは以前のソフトウェアバージョンに戻ります。アップグレード確認タイマーのデフォルト時間は15分です。

6.request software set-default <version>コマンドを使用して、新しくインストールしたバージョンをデフォルトバージョンに設定します。

```
vedge# request software set-default 20.6.5
This will change the default software version.
Are you sure you want to proceed? [yes,NO] yes
vedge2_20_6_3# show software
```

VERSION	ACTIVE	DEFAULT	PREVIOUS	CONFIRMED	TIMESTAMP
---------	--------	---------	----------	-----------	-----------

20.6.2	false	false	false	user	2022-01-28T21:25:12-00:00
20.6.3	false	false	true	user	2022-06-08T00:09:20-00:00
20.6.5	true	true	false	user	2023-10-06T00:09:40-00:00

アップグレード後の検証

- 制御接続とBFDセッションを確認します。
- OMPルートおよびサービスVPNルートの確認：vEdgeとハブ/その他のノード間のすべてのサービスVPNセグメントでエンドツーエンドpingをテストします。

トラブルシューティング

不正確なクロック

次のエラーメッセージが表示された場合は、デバイスのクロックを確認し、正しい時刻に設定されていることを確認してください。

The local time of vEdge router was incorrect and hence were getting following error message:

```
tar: md5sum: time stamp 2018-12-20 06:12:07 is 7096084.404035963 s in the future
tar: rootfs.img: time stamp 2018-12-20 06:11:44 is 7096048.610879825 s in the future
Bad signing cert
Signature verification failed.
```

その他のトラブルシューティング

アップグレードに関するエラーについては、/var/log/tmplogディレクトリにあるvdebugを確認できます。

関連情報

[vManage GUIまたはCLIを使用したSD-WANコントローラのアップグレード](#)

[ビデオ – CLIを介したCisco SD-WANエッジデバイスのアップグレード](#)

[ビデオ – vManage GUIからのCisco SD-WANエッジデバイスのアップグレード](#)

[CLIまたはvManageを使用したCisco SD-WANエッジルータのアップグレード](#)

[テクニカル サポートとドキュメント - Cisco Systems](#)

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。